

やすらぎ通信

第13号 (平成23年12月1日) 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

師走(黄冬)

たきび

異 聖歌 作詞 渡辺 茂 作曲

かきねの かきねの まがりかど
たきびだ たきびだ おちばたき
あたろうか あたろうよ
きたかぜ ぴいふう ふいている

さざんか さざんか さいたみち
たきびだ たきびだ おちばたき
あたろうか あたろうよ
しもやけ おててが もうかゆい

こがらし こがらし さむいみち
たきびだ たきびだ おちばたき
あたろうか あたろうよ
そうだん しながら あるいてる

いよいよ12月。おかげ様をもちましてこのやすらぎ通信もちょうど1周年を迎えることができました。昨年の相愛大学との連携事業「生と死を、今考える-がん医療とスピリチュアルケア-」と「糖尿病予防セミナー」にご参加いただいた方々との出会い、「一期一会」を大切にしたい、皆様方との心の結びつきをつくりたいという思いで始めさせていただきやすらぎ通信。当初は約200名の方々との通信でしたが、3月には地域の開業医の先生にも配信させていただき、また、4月からはメルマガでの配信もはじめるなど、この通信をお送りしている方々もいつの間にか約1200人となりました。さらに先月の「生と死を、今考える2-やすらぎのがん医療-」「第2回糖尿病予防セミナー」にお申し込みいただいた方々から新規に約70人のやすらぎ通信配信のお申し込みがあり、今月からはこれらの方々にも配信を始めさせていただいております。その結果、現在では、総数約1300人の方々にこのやすらぎ通信をお届けできることとなり、大変うれしく思っております。

やすらぎ通信のモットーは、「情報量たっぷりのごちそう」ではなく、「適度な情報量とやすらぎを感じていただける食後のデザート」感覚で手軽にお読みいただけるものとしてご提供させていただくことです。今後とも、この路線で進んでいきたいと思っております。

さて、いつもお伝えしております今月の万代池の風景ですが、今年も多くの鴨が渡ってきてくれました。4月、5月に北に向かい飛び立った鴨たちは、おそらく北の住処で産卵し新しい命、家族を得て再びこの地に戻ってきてくれたものと思われまふ。池をまたいでいる橋からはゆったりと湖面に気持ちよさそうに身を浮かべている鴨たちに出会うことができます。

鴨に限らず多くの鳥たちが渡りをします。渡りのコースはDNAに刻まれているかのごとく正確です。海洋生物の鮭や鱒類の大回遊もそうですが、彼らも生まれた河川を忘れずにかかわらず生まれた河川に帰って来るといいます。本当に自然の摂理は人知を超えたものがありますね。

こうした自然界の奥深さに思いをはせまふと、これまで人間も自然界の一部であるのに、そのことを忘れ、自然界の外側に身を置き、自然とは人間の生活向上のために利用するもの、科学技術によってコントロール可能なものと不遜にも思ってしまったのではないのでしょうか。特にこの1世紀、科学技術の発展があまりにも目覚ましく、この科学技術の力を過信しすぎてきたのではないかと思つてしまふます。

今年、日本人にとりまして終生忘れることのできない大変な年となりました。その大変さをもたらした「災い」は今もなお、多くの被災された方々を苦しめてまふます。こうした「災い」がもたらした苦しみを1日も早く和らげ、被災された方々が平穏な生活に戻れるよう最大の努力を今後とも続けなければなりません、同時に日本人全体が、もう一度人間の自然との向き合い方を見直す契機にしなければならぬように思ふます。科学技術がいくら進歩を遂げまふしても、人間が自然を完全にコントロールするなんてことは不可能です。

自然は古来、人間に食糧や住居やエネルギー、心のやすらぎなど多くの恵みを与えてくれてきた一方、時に凶暴に人間に襲いかかり生存を脅かしてきました。今回の厳しい災害によりこうした自然と人間との基本的な関係の構図は古来から何ら変わらず現代に至っているということを改めて教えられました。

今一度、古人(いにしえびと)がもっていた自然に対する「畏れ」の感情、人間は自然によって生かされているという古人たちが持っていた謙虚な心をもう一度取り戻し、改めて自然との関係を再構築する必要があるのではないのでしょうか。

さて、万代やすらぎ亭を立ち上げ、関係者のご協力により二度の落語会と一度の講談会を開催しましたところ、皆様方に大変ご好評をいただきました。そのご声援を受け、2月、3月と連続しての落語会を企画させていただきました。三代目桂春団治師匠を囲む会の会長さんをはじめ、初回に来ていただいた桂梅団治さんにはその後も全面的なご協力をいただいております。

また、先般のシンポジウムのコーディネートをつとめていただいた毎日放送の大谷邦郎氏のご協力により実現した桂かい枝さん、旭堂小二三さんの会も、お二人には今後とも全面協力の約束をいただいております。当センターは一期一会を大切にすることにより様々な多くの方々に支えていただいていると、本当に感謝しております。

最後に。今月の歌は「たきび」を取り上げました。たき火が、人々の生活から姿を消してからもう何十年になるでしょう。都心部や都市近郊部では、法規制などによりたき火ができる場所がなくなりました。また、核家族化とコミュニティの崩壊の進展が言われて久しいこともあり、地域ごとによく見られた落ち葉拾いなども少なくなりました。今は、そのようなことは市役所の仕事になっているのでしょうか。

しかし、一定の年齢以上の人々にとっては、たき火は冬の心象風景としてよみがえってくる方が多いのではないのでしょうか。今のような石油ファンヒーターやエアコンなど強力な暖房設備は家になく、炭火火鉢やせいぜい練炭火鉢で暖を取り、冬の寒さをしのいでいました。

また、子どもたちにとっての冬の寒さの過ごし方は、地域の遊び仲間と共に、外に出て、鬼ごっこや陣地取り、すもうやどうま遊びなど体を動かすことでした。そうしたなか大人たちが集めた落ち葉を燃やしたたき火はとても体も心も温まる楽しみでした。たき火を中心に大人や子どもが輪を作り暖を取る。そして、みんなたき火のなかにうずめたさつまいもが焼き上がるのを今か今かと待つ。おいもが焼きあがると手に手に持ちかえながら熱さをこらえ、真ん中で二つに割る。すると真黄色に焼きあがった、ほかほかのさつまいもが湯気と美味しさの香りを漂わせて現れる。しかも焼きすぎた部分には茶色のおこげが。このおこげがまた香ばしくて美味しい。皆さん、こういう体験をなさったことがあるかと思います。たき火は、冬のオアシ

スで、体も心も温かくなるリッチな喜びのひと時でした。しかも、手編みのセーター、手袋、帽
たくさん綿の入った甚平さん。どれもこれもお母さんや、おばあちゃんの作ってくれたもの。
暖かい家族の愛情も感じることができました。

「三丁目の夕日」という映画が数年前にヒットしました。私の知人の高校生の娘さんは、そ
の映画を見て「お母さん、日本にもこんないい時代があったんやなあ」としみじみ感想をもら
したと聞きました。その話を聞いて、「私たちは、若い世代がこのような感慨を持たせるような
国を作ってしまったのか」と、とても複雑な気持ちになってしまいました。

もう一度本当の進歩とは何なのか、幸せとは何なのか、自然に対する向き合い方も含めて
変え直すことが大切ではないでしょうか。

さあ、いよいよ来月から新しい年がスタートします。来年は、日本にとっても世界にとっても、
ほんのちょこっとだけでもいいですから「いい年だな」と感じる年になってもらいたいですね。
そして、来年も「やすらぎ通信」をしっかりと皆様方にお届けして、絆を深めてまいりたいと思っ
ております。よろしくお祈りいたします。

(追伸)

先日、「生と死を、今考えるーやすらぎのがん医療」に参加下さいました西宮市在住の女
性の方から、シンポジウムの企画とこのやすらぎ通信に大変暖かい励ましのお便りをいただ
きました。ありがとうございました。皆様方に支えられ来年も頑張ってみようと思っております。

NEWS

【(新) 高校生参加イベント —2012 ふれあい病院探検隊—開催!!!】

～あなたも医師や看護師に！病院の仕事を体験しよう！～

高校生のみなさん！一度医師や看護師になり病院の仕事を模擬体験してみませんか！当センターでは、高校1年生、2年生を対象に、医師や看護師、薬剤師、検査技師等になったつもりで、当センターが提供する30を超えるアトラクション（模擬体験）を体験できるイベントを初めて行います。

日 時 平成24年2月5日（日） 午前10時～午後4時

場 所 当センター講堂及びその周辺

対 象 府内の高校1年生、2年生 （参加無料）

参加には、事前に申し込みが必要です。

申込み 次のFAX（チラシの裏面の用紙を使用）またはホームページで

FAX 06-6606-7070

HP : <http://www.gh.opho.jp>

申込み受付 12月1日（木）～1月13日（金）（先着500名）

（参加には、後日お送りする参加証が必要です。）

お問合せ TEL 06-6692-2222（受付時間 9:00～19:00 平日）

Email tanken@gh.opho.jp

なお、本イベントは相愛大学、森ノ宮医療大学、大阪府立大学のご協力を得て実施します。

【(新) 前立腺がんのIMRT治療を開始しました—放射線治療科・泌尿器科】

前立腺癌に対するIMRT（強度変調放射線治療）を今年5月から準備してきましたが、ようやく11月から保険診療を開始することになりました。今年導入したリニアック（Novalis Tx）を用いた画像誘導放射線治療で行います。この治療のメリットは、メスを使わずに高い確率で癌を制御できるだけでなく、通常の放射線治療と比べ晩期の有害反応（直腸出血など）が抑制できることです。この治療法が加わり、前立腺癌に対する放射線治療のほとんどが当センターで可能になりました。

【(再)がんの小線源治療を開始しました！—放射線治療科・泌尿器科・産婦人科】

放射線治療部では小線源治療装置を更新し、子宮頸癌に対する腔内照射を4年ぶりに再開しました。再開と同時に、患者さんに優しい治療として、希望する方には鎮静下での治療を導入しました。痛みを感じることなく小線源治療が可能となっています。

また前立腺癌に対する小線源治療としてこの 11 月からヨード密封線源永久挿入療法を新規に始めます。全身麻酔下で長さ 5mm、直径 1mm 程度の線源を前立腺に 50-80 個程度埋め込む治療法です。2-3 時間の埋め込む手術を行うだけで、入院も数日で済み、非常に短期間で治療が完遂できるメリットがあります（通常の外部照射による放射線治療では 7～8 週間かかります）。但し、この治療は適応が限られます。詳しくは当センター泌尿器科もしくは放射線治療科でご相談下さい。

【(再) 甲状腺外科外来を開設しました ー耳鼻咽喉・頭頸部外科ー】

このたび、耳鼻咽喉・頭頸部外科では、甲状腺外科外来を開設いたしました。

今後甲状腺外科の検査・治療の窓口として院内外からの診察依頼を幅広く受け付けます。甲状腺疾患の患者さんを対象に、即日超音波検査（細胞診を含む）と血液検査を行い、速やかに診断を行います。

外科的な治療が必要な場合は手術治療を行います。さらにバセドウ病や悪性甲状腺腫に対して、I-131 による R I 治療が必要な場合も、画像診断科、放射線治療科と連携して治療を行います。

内科的な投薬治療を行う場合は、糖尿病代謝内科と協力して診療を行いますが、慢性期の疾患の場合は、地域のクリニックをご紹介させていただきます。

開設日 月 ・ 水 ・ 金 の午後
お問合せ先 耳鼻咽喉・頭頸部外科 主任部長 坂田義治

【(再) 皮膚良性色素性疾患用の最新式のレーザー装置が導入されました

ー形成外科ー】

4月から、従来使用していました Q スイッチ付きアレキサンドライトレーザーに代わり、最新式の Q スイッチ付きキルビーレーザーを導入いたしました。

対象疾患は、Q スイッチ付きアレキサンドライトレーザーとほぼ同じですが、従来保険適用であった太田母斑、異所性蒙古斑、外傷性色素沈着に加え、以前から治療要望の多かった扁平母斑も保険適用になりました。

また、保険適用はありませんが、一般に「しみ」と呼ばれる色素班の中でも老人性色素班等（肝斑は効果はありません）はこのレーザーに良い適応があります。

お気軽にご相談ください。

なお、レーザー治療は毎週月曜日の午前中に行っていますが、完全予約制となっており、事前に一度当科外来をご受診のうえで、予約を取っていただき、専門医の診察・治療をお受けいただくことになります。

【(再) 診察予約変更センター設置－6月から11の診療科において

診察の予約日・時間の変更が電話でできるようになりました！】

当センターでは、6月から11診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しました。

これは、当センターが進めています「患者さんにとって利便性の高い病院づくり」の一環として導入整備したもので、急な用事や体調変化で予約された日時に診察のために来院できなくなった場合に、電話で日時の変更ができるサービスをご提供するものです。

予約変更を電話でできるのは、以下の診療科です。是非、積極的にご活用ください。

なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

(電話番号) 06-6692-1201(代表)にダイヤルして

「予約変更センター」と言ってください。

(受付時間) 午後3時～午後5時(平日のみ)

(対象診療科) 内科・呼吸器内科 消化器内科 糖尿病代謝内科 整形外科
免疫リウマチ科 皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科
神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

【(再)入院治療費の概算を予めお知らせすることを始めました】

昨年度実施しました患者満足度調査におきましては、入院時にいくら程度医療費がかかるか事前に教えてほしいというお声が多く寄せられました。

このため、当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に行う入院センター(やすらぎセンター)を5月から整備したことに合わせまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを開始しました。

お知らせの方法は、当面、患者さんにお渡しする「患者さん用クリティカルパス(治療計画書)」の中に記載してお知らせする診療科と、口頭でお知らせする診療科に分かれますが、最終的にクリティカルパスに記載する方法に統一をすることになっています。

今月の催し

【(新) 第15回相愛大学連携コンサート】

～再び！サンタの仲間が病院にやってきた～

日 時 12月 21日 (水) 午後2時～

場 所 本館3階講堂

出演者 相愛大学「鍵ハモ隊」

音楽学部創作演奏専攻の学生による鍵盤ハーモニカアンサンブル

【サンタからの楽しい贈り物—クラシックバレエのひとつ】

エリート・バレエ・スタジオの皆様が、優雅で楽しいバレエをお届けいたします。

日 時 12月 27日 (火) 午後2時～3時

場 所 本館3階講堂

出 演 エリート・バレエ・スタジオの子どもたちと大人たち

【(新) 大好評！！】

相愛大学連携・外来糖尿病教室～知って得する！糖尿病の付き合いかた～】

—12月はお休みです—

日 時 平成24年1月17日 (火) 午後2時～3時

場 所 1階アトリウム

内 容 (1) 飲んでいる糖尿病薬を復習しよう！

糖尿病代謝内科 畑崎 聖弘

(2) 糖尿病のくすり～インスリン分泌促進薬

薬局薬剤師 天野 二愉香

(3) アルコールについて

栄養管理室管理栄養士 笠井 香織

【(新) 府民公開講座】

現代日本社会とうつ病

日 時 12月10日 (土) 午後1時30分～3時

場 所 本館3階講堂

講 師 精神科・医師 高屋 雅彦

(先着100名：参加無料)

【(新) 今月の すこやかセミナー】

大腸内視鏡検査と大腸の病気

日 時 12月8日(木) 午後2時～3時

場 所 3階保健教室

講 師 消化器内科 入江 孝延

(参加無料)

【(新) 現代美術空間一病院ギャラリー 第5回企画展 開催】

「やすらぎの木版作家—浅野竹二

ユーモアとペーソスの自由版画展—」

日 時 平成23年12月26日(月)～平成24年6月22日(金)

場 所 本館2階ギャラリー(入場無料)

浅野竹二は、1900年京都生まれ。京都市立絵画専門学校で日本画を学んだ後、油絵を始めますが、再び日本画を描き始め、日本画家として活躍します。1930年頃からは、木版画の制作を始め、写実的な「名所絵版画」を制作する一方で、自由に自分の感性を表現した『創作版画』を制作し、大胆なフォルムと色彩で構成されたユーモア溢れる作品を発表しました。

今回は「ユーモアとペーソスの自由版画展」と題して、これまで展示してきた情景版画とは全く異なる軟らかく暖かい情緒豊かな自由版画をお楽しみいただきます。

なお、本企画展は大阪府立現代美術センターのご協力を得て開催しております。

【(継) 現代美術空間一病院ギャラリー 第4回企画展—開催】

「やすらぎの木版作家—浅野竹二 初期情景版画展—新京名所と新大阪風景」

日 時 平成23年12月22日(木)まで

【(新) 予告：第4回やすらぎ寄席—三代目桂春団治—門落語会】

日 時 平成24年2月21日(火) 午後2時～

場 所 3階講堂

出 演 桂 福矢

桂 咲之輔

主 催 万代やすらぎ亭

(入場無料)

【(新)予告：第5回やすらぎ寄席—平成の爆笑王 桂 かい枝落語会】

日 時 平成24年3月12日(月)午後2時～

場 所 3階講堂

出 演 桂 かい枝

主 催 万代やすらぎ亭

(入場無料)

Topics

【(再) PET-CT の整備工事を行っています！】

PET-CT につきましては、現在整備工事を行っており、来年3月に完成する予定です。この整備により、当センターのがん診断機能が一層強化され、また地域の開業医の先生方からの検査依頼にもお応えできるようになるなど、これまで以上に南大阪地域のがん拠点病院としての役割を果たしていけるようになります。

【(継) 新名所：やすらぎのプロムナード—北側通路周辺—】

当センターでは、「やすらぎの医療空間」づくりの一つとして、本館と中央館の連絡通路から北側に伸びた通路周辺の緑地の再整備を行い、患者さんやお見舞いの方などに“緑の憩いの空間”を楽しんでいただいております。

ベンチや丸テーブルでタリーズのコーヒーやえびすカレーのテイクアウトを持ち込んでランチを楽しんでおられる方も多くみられます。

12月もまだまだ紅葉の美しいシーズン。紅葉を楽しみながら散策に休憩にと、ひとときのやすらぎと潤いを与えてくれる空間をご利用ください。

今月のコンシェルジュ

【(新) コンシェはどんな人？—野村佳世コンシェルジュの巻—】

野村コンシェルジュ「こんにちは。野村佳世と申します。私が働く上での励みは、患者さんからいただく『ありがとう』というお言葉です。今回は私のおすすめスポットをご紹介します。ご存知の方も多いと思いますが、病院正面の万領中央公園に咲く桜です。桜には花言葉がいくつかあります。その中の私の好きな花言葉は『あなたにほほえむ』です。桜は、これからの厳しい寒さを乗り切り、春になったらみごとな花を咲かせます。病院に来られる皆さんにほほえみ、暖かく出迎え、癒してくれるよう

にさえ感じます。その様子に患者さんの温かさに励まされてばかりではなく、桜のパワーには勝てませんが、私もさらに頑張ろうと思います。季節はまだ冬ですが、今から桜の花が咲くのを心待ちにしています。春になりましたら、一度足を止めて、万領中央公園の桜をご覧ください。どうぞ、これからもよろしく願いいたします。」

その他のお知らせ

【(継) やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページからアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページのご検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

【(継) 医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関はJ-Debitに加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。(ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。) このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」『よろこびの医療空間』
「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。